

福井小学校



杉原 璃莉
(すぎはら りり)



杵築 一香
(きづき いちか)



川本 あさひ
(かわもと あさひ)



豊田 庄之介
(とよた しょうのすけ)



田村 知暖
(たむら ちはる)



高田 真菜
(たかだ まな)



脇谷 薫
(わきたに かおる)



安田 帆花
(やすだ ほのか)



名越 彩穂
(なごし さほ)

児童数
保護者数
4055名

教育目標

豊かな心を育み
最後までやりぬく
主体的な児童の育成



田中 智子
(たなか ともこ)



中村 康勇
(なかむら やすお)



石倉 沙希乃
(いしくら さきの)



校長
濱板 健一
(はまいた けんいち)

新任教職員紹介

★入学おめでとう★

教育だより
【海士町教育委員会】

海士小学校

児童数
保護者数
3549名

教育目標
志をもって意欲的に学び、
自律心と思いやりの心をもつ、
たくましい海士の子



上谷 龍
(かみたに りゅう)



浅井 結生
(あさい ゆう)



山本 結汰
(やまもと ゆいた)



銭谷 鳳閃
(ぜにたに ほうせん)



川越 晁
(かわごし ひかる)



養護
吉崎 さなえ
(よしざき さなえ)



曾田 悠斗
(そた ゆうと)



園山 貴広
(そのやま たかひろ)



吉田 司
(よしだ つかさ)



飯古 久美子
(はんこ くみこ)



教頭
福島 大介
(ふくしま だいすけ)

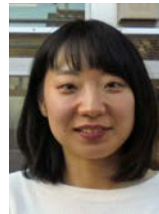
■新任教職員紹介

生徒数
保護者数
3840名

教育目標
自ら未来を切り拓く、
心豊かでたくましい
生徒の育成



扇谷 亜羅
(おおぎたに あいら)



佐渡 由季子
(さと ゆきこ)



古木 秀典
(ふるき ひでのり)



岸 裕貴
(きし ゆうき)



校長
濱中 直
(はまなか すなお)

海士中学校

第一号親子島留学の修了

島外からの親子島留学制度をスタートさせて3年目に入り、家族が修了されました。2年間にわたり崎地区に在住して、地域の皆さんとはもちろん、福井小学校、海士町の方々とともに積極的に交流を行いました。そして、皆さんの貴重な体験や新しい挑戦を通して思い出を次々と刻みました。5年生のお兄ちゃん、魚釣りの挑戦、音楽活動の挑戦、竹細工では地元の師匠の所へ通うぐらいに熱が入っていました。学校では陸上の参加、音楽会の参加、学習発表会での演劇のリーダーとしての活躍など新しいことに果敢に挑戦をしました。海士町に来るときにいろいろなことに挑戦するというのが条件でしたが、私たちが予想していた以上の活躍をしました。他の二人の弟妹も伸び伸びと生活をして楽しい2年間を過ごしました。

去る3月22日に修了式を行い、修了証書を渡しました。そして、24日の朝に地元の方々の人に見送られて海士を離れました。この光景を見て、島留学は大きな可能性のある事業であると改めて確信を持ち、海士町の力強い応援となってくれる事を切に期待しているところです。ただ、この誰ともつながりがない地域にいて一から作り上げることは大変な苦勞であったと思います。教育委員会も初めての導入であり、手探りの状態から始まったので家族に対し至らない点も多々あったと思っています。子供たちも、新しい地での生活を送るのもさることながら、母親の女手一つで父親の役目もしながら子育てに奮闘したお母さんには敬意と感謝を申し上げます。中央図書館の仕事や生け花の仕事など海士町へ貢献をしていただきました。また、東京で単身で過ごされたお父さんにも多大なご不自由があったらうと、これまた頭の下がる思いです。



教育長
平木 千秋

受け入れをしていただいた崎地区の区長さんを始め、ご支援をいただいた近所の後見人の皆さんや、家族同様につきあっていたいただいた同年代の家族の皆様にも重ねて感謝申し上げます。

さらに、福井小学校での日々の学校生活を楽しく送らせていただいた学校関係者にもお礼を申し上げます。このようにいろいろな皆さんとの交流や、活動を通して絆を深める親子島留学が成立していくものと考え、ただただ皆さんに感謝いたします。海士町の思い出を胸に、遠く離れていても、いつかもう一度海士町に帰ってきたいと思っていただければともうれしく思います。

今年度は新たに2家族が、崎と御波に在住します。各地区ともに積極的に受け入れていただき有り難いです。自然豊かな環境の中で子供たちを伸び伸びと育てたい親心に寄り添って、出来る限りの支援をしたいと思っております。家族構成や年齢層も違いますので、また違った形の海士町での生活になるかと思いますが、いい思い出を作っていたと思いますが、と思っています。そして海士のよさを



第一号親子島留学
修了式の様子

味わってもらい、地域の皆さんとよい関係が築ければと思います。今年度、海士町の小、中学校では全部で144名の児童生徒がいます。そのうちの6割が地元出身の子供であり、4割がインターンや転勤族の子供たちです。そして親子島留学は4組います。この子供たちが、これから新しい時代にたくましく生きていく資質を身につけるにはどうしたらよいか、一生懸命取り組んでいます。親子島留学の子供たちと切磋琢磨しながらともに高まる集団が出来ることを願いつつ、地域の皆さんのご理解とご協力が一番大切であると思っています。今年度も引き続きよろしく申し上げます。